

【事務事業シート】

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3 当初

7 年 度	事 項	産業技術研究所試験研究費						予算主管課	産業創出課		
	事 業 概 要	県内中小企業の技術力向上及び新製品開発を通じた地域産業の活性化を図るため、産業技術研究所が各分野における課題解決に向けた研究に取り組む。						始期	2008		
								終期			
	K P I	試験研究・基礎研究数（本事業分）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	10 件	目標値	10 件	目標値	10 件	目標値	10 件
		実績値	10 件	実績値	10 件	実績値	10 件	実績値	9 件	実績値	件
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	90 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	10700 千円	最終現計 予算額	10880 千円	最終現計 予算額	12649 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	9907 千円	決算額	10098 千円	決算額	12008 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円				
					不用額	641 千円	不用額	千円			
要 因 分 析	要因 本事業分で予定していた試験研究数の1本が、他事業で実施することになったため。										
	総括										
見直し方向性	維持	今年度も県内中小企業の技術高度化や新商品開発につながる研究課題を選定することとしていおり、ほぼ想定どおりの成果がでているため、見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当初

7 年 度	事 業 概 要	事 項	産学官連携推進事業費						予算主管課		産業創出課		
			地域産業の活性化を図るため、産学官連携システムを構築し、研究開発と事業化を継続的に実施するとともに、外部資金を効率的に獲得できるよう、技術プロジェクトの育成を総合的に支援する体制を強化する。						始期	2002			
									終期				
	K P I	産学官共同研究件数											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	4 件		目標値	4 件		目標値	4 件		
		実績値	4 件		実績値	4 件		実績値	5 件		実績値	5 件	
		実績値	4 件		実績値	4 件		実績値	5 件		実績値	5 件	
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	125 %		達成率	125 %	
		達成率	100 %		達成率	125 %		達成率	125 %		達成率	100 %	
	コ ス ト	最終現計 予算額	46431 千円		最終現計 予算額	51240 千円		最終現計 予算額	54101 千円		最終現計 予算額	千円	
		決算額	34184 千円		決算額	37585 千円		決算額	36700 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円			
						不用額	17401 千円		不用額	千円			
要 因 分 析	要因												
	総括												
見 直 し 方 向 性	維持	令和7年度のKPIの実績は目標値を達成していることから、令和8年度の執行方法の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

当初

事 項	ローカル5 G用途展開促進事業費							予算主管課		産業創出課			
事 業 概 要	久米窪田5Gラボに実証体験できるシステムを導入するとともに、ローカル5GやAI技術等の活用事例を紹介するセミナーを実施し、県内企業への横展開を図る。また、スマート工場化を促進するため、共同研究によるスライシング技術を活用したシステム構築を行う。							始期	2021				
								終期	2026				
K P I	5 G関連技術の導入・製品化件数												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	3 件		目標値	8 件		目標値	11 件			
	実績値	1 件		実績値	9 件		実績値	11 件		実績値	件		
	ストック /フロー	ストック		達成率	300 %		達成率	137.5 %		達成率	100 %		
	コ ス ト		最終現計 予算額	9066 千円		最終現計 予算額	3400 千円		最終現計 予算額	3700 千円		最終現計 予算額	千円
決算額			8167 千円		決算額	3319 千円		決算額	3159 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円			
						不用額	541 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因											
		総括 5G技術を活用した共同研究等に積極的に取り組むことで、イノベーションの創出に繋がり、5G関連技術の導入及び製品化件数が多くあり、KGIである技術移転件数にも寄与できた。											
	見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6

当初

7 年 度	事業概要	事 項	愛媛セルロースナノファイバー関連技術社会実装事業費							予算主管課	産業創出課	
			事 業 概 要	CNF（セルロースナノファイバー）先進県を目指し、柑橘ナノファイバーのブランド化とこれまで得られたCNF技術シーズの社会実装化を進めることで、県内CNF関連産業の活性化を図る。							始期	2022
											終期	2025
	K P I	セルロースナノファイバー関連製品化件数										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	8 件	目標値	10 件	目標値	10 件	目標値	件	
		実績値	7 件	実績値	9 件	実績値	10 件	実績値	10 件	実績値	件	
		ストック /フロー	ストック	達成率	112.5 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	5848 千円	最終現計 予算額	3766 千円	最終現計 予算額	3520 千円	最終現計 予算額	千円	
				決算額	5703 千円	決算額	3522 千円	決算額	3373 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円					
				不用額	147 千円	不用額	千円					
要因分析	要因											
	総括 事業成果の指標である製品化件数10件を達成することができ、愛媛セルロースナノファイバー関連技術の社会実装に繋が り、KGIである技術移転件数にも寄与できた。											
見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初,2
月補正

事 項	産業技術研究所耐震改修工事費										予算主管課		産業創出課		
事 業 概 要	産業技術研究所の耐震性の向上を図るため、本館、機械金属実験棟及び機械室において耐震改修工事を行う。										始期		2025		
											終期		2025		
K P I	産業技術研究所耐震改修工事進捗率														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %		目標値	%		
	実績値	%		実績値	0 %		実績値	0 %		実績値	100 %		実績値	%	
	ストック フロー	ストック		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	115825 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	108250 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	7575 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因													
		総括 耐震改修工事の実施により、南海トラフなどの大地震発生時の建物倒壊リスクを低減させ、施設利用者及び研究所職員の安全確保に繋げることができた。													
	見直し方向性														

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

8
当初

7 年 度	事 業 概 要	愛媛高品質真珠製造・評価技術開発事業費							予算主管課		産業創出課					
		高品質真珠の生産率向上技術と、評価・選別のバラつきを解消した高精度真珠評価技術を開発し、市場における県産真珠のブランド価値を向上させ、愛媛の真珠産業の活性化を目指す。							始期		2025					
	終期								2027							
	K P I	予備試験の進捗率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %		目標値	%		
		実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	100 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	6991 千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	6900 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円						
						不用額	91 千円		不用額	千円						
要 因 分 析	要因															
	総括															
	見直し方向性	維持	現時点までに想定通りの成果が得られており、研究の進捗状況によっては今年度のKPI達成も十分見込めるため、見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。